

つながる、ひろがる、マグネットマガジン [D-tsuushin]

vol. **180**
2019

D2C

D2C 初代社長・藤田明久氏登場!! 社友会 / 「#PORTFOLIO」中丸友里恵 / マンガで解説!! GRID Platform

「あした何食べる?」東銀座(築地)、溜池山王、宮崎 / 「四コマ漫画」東京ふたりぼっちの社内ウオッチ

Interview

D2C R

実方真由子

実方直由子

営業本部 マネージャー

変化の激しい業界で勝ち残れ!!
急成長で存在感を増すD2C Rのチーム力とは



記念すべき180号となるD2Cグループ社内報『D2心』。今回の表紙を飾るのは、D2C R営業本部 マネージャー 実方 真由子さん [2012年入社/新卒8期生]。変化スピードが激しいデジタルマーケティング業界において、D2C Rの主軸となるアプリプロモーションを黎明期から手掛ける実方さんに、組織の成長と自分自身の成長に妥協しない、クールでアツいチームづくりについて伺いました。

社会人8年目、営業歴8年目

編集部 (以下、Q) まずは、実方さんのお仕事内容について教えてください。

実方 (以下、A) 新卒でD2Cに入社して今年で社会人8年目となりますが、入社以来ずっと変わらず営業です。現在は、2013年に設立されたグループ会社のD2C Rで、ゲームアプリを中心としたアプリプロモーションを手掛けています。2017年からは、マネージャーとしてチームの売り上げ達成と組織のマネジメントも任されているので、チームメンバーと一緒にどのようにチームを作り上げて、いかにチームとして成功していくかに注力しています。

Q 実方さんのこれまでのキャリアとD2C Rに異動したきっかけは?

A 入社して2年は、D2Cでメディア営業を担当していました。当時は「業界で知名度をあげたい、社会で自分の成果を残したい」というキャリアイメージを漠然と描いていたのですが、入社して1-2年はなかなか芽が出ませんでしたね。上手く成果が出せないもどかしさが常にあって、心が折れそうになることもあったのですが、それでも、「一つのことを成し遂げるまでは、やりたいことなんてできない」という信念を糧に、諦めるということはありませんでした。その後、直接クライアントに提案する機会に恵まれ成果を上げると、代理店の力を発揮できる仕事をもっと手掛けたいと、入社当時の上長たちが立ち上げメンバーとなったD2C Rに異動することにしました。

変化の激しい業界は難しいだからこそ、面白い

Q D2C Rに入って感じた違いというのはありましたか?

A D2C Rに入ってまず圧倒されたのはスピード感ですね。デジタルマーケティング業界の中でも、特にアプリマーケティングはトレンドの移り変わりも早く、新しい考え方や手法にアンテナを張り続けることが欠かせません。難しくもありますが、だからこそ面白いと感じているメンバーが多いので、心強もあり、常に刺激を受けています。

D2Cという大きな組織からD2C Rに入って気づいたことは、組織というのは、上に立つ人のマインドによって大きく変わるということでした。現在は100名を超えるメンバーがD2C Rで働いていますが、社長から新卒入社社員まで、入社年月や年齢にかかわらず意見を出せる環境がD2C Rの原動力になっています。変化の激しい業界の中でも一人一人のメンバーが最前線を走っている意識を持っているので、現場の意見がど

んとん取り入れられて、仕組みや制度に反映されていくことも多いですね。その分、役職や立場にも遠慮せずに意見を出せる環境なので、マネージャーとなった私も鍛えられています(笑)。個々の専門性と協働力、多様な働き方や意見が共存することで、組織として成長していると実感しています。

現場のままだったら気づけなかった自分自身 “役職が人を変える”と信じて

Q 2017年からマネジメント職に就いていますが、きっかけは?

A D2C Rに入って3年目から自身のキャリアパスを考えるようになり、営業としてのスキル以外のスキルを身につけていきたいと考えたのがきっかけです。ただ、「自分はマネジメントには向いていない」と思っていたので悩んでいたところ、当時の上司から、「マネジメントスキルを上げてみないか」とアドバイスをを受け、挑戦してみようと考えようになりました。改めてよく考えると、“マネジメント”ということに対して、漠然としたイメージしか持っていないのに、それだけで向いていないとも言えないかなと。現在は悩むことも多いですが、マネージャーとして現場の営業としてやっていたこととは別の仕事や視点を持てるようになり、挑戦する場を与えてもらったことに感謝しています。

Q 実際にマネージャーになってみてどうでしたか?

A マネージャーになって初めて、自分自身を客観的に振り返られるようになりました。現場でもがいていた1-2年目になぜ芽が出なかったのか、マネージャーの立場になってみてやっとわかった気がします。自分自身の経験があるので、上手いかわからないメンバーの気持ちもよくわかりますし、彼らが成長して立ち立っていくことが、自分のことのように嬉しい。今の私の役職は、上からも下からもいろいろ言われる立ち位置なので、組織を動かす上の苦勞も、最前線の現場で走る下の大変さも理解できます。それと同時に、チームを率いて共に成長する楽しさも、現場のままだったら気づけなかったことです。

マネージャーになってみてわかったことは、必ずしもトップ営業がマネージャーに向いているとは限らない、ということです。自分自身や後輩が成長する経験を通して“役職が人を変える”と信じているので、ぜひいろんな人に、それぞれ「マネージャーなんて向いていない」と思っている人にも、マネジメント職に挑戦してほしいですね。そして、どんな人でもマネジメント職に挑戦できるような風通しのいい環境も、さらに広げていきたいです。



マンガで解説!! GRID Platform

D2C RとD2Cでは、今夏よりGunosyとの協業によるドコモのデータを活用したアドネットワーク「GRID Platform for docomo Ads」を販売しています。今回はGRIDを担当している江崎さんと一緒にマンガで解説します!

江崎晋之介 (28)
趣味「筋活」
毎日の日課は
筋肉体操と、
朝の通勤電車で
ウェブニュースを
チェックすること。

今年のハロウィンのトレンドは「令和おじさん」かー

うまよ

一ヶ月後

お前、どんだけ流されやすいんだよ...

鈴木さ〜ん健康診断はギリオールAでした

なににな? ポイントバック20%?

一ヶ月後

江崎さん、明日ランチ一緒にしませんか?♡

さんまいでも行くか!



GRID Platform とは?
契約台数国内No.1のドコモのユーザーデータを、「GunosyAds」と掛け合わせ、より精緻なターゲティングを可能とした、広告配信システム。

データ

- デモグラ: 28歳/男性/都内在住
- 検索履歴: マッスルコンテスト、武田真治、プロテイン
- 興味関心: 筋肉、ダイエット

江崎の実際の趣味傾向とは異なります。



溜池山王
1,170円

一口サイズの海老・イカ・小柱がゴロゴロ入って、さらに舞茸・ししとう、あと何と何と言って「揚げ温玉」付き!!! 最初はタレでシンブルに味わい、途中で温玉で黄身&タレ付きご飯を楽しめます。想像するだけで美味しいことがわかりますね(笑)セットの味噌汁も三つ葉たくさんで良い風味ですし、食べ放題のショウガ&ゴボウの漬物とたくわんが奢れにちょうどよい爽やかさ! 女性にはちょっとボリュームなので、お腹へこぼして行ってください。

D2C デジタルマーケティング事業本部 プロデュース1部 渡邊千波さん
これを見たらあなたもだんだん食べたくなる! 天丼食べて、皆さん溜池山王にも遊びに来て下さい!!!

D2C オペレーションセンター 広報室 赤坂店 (日本橋金子半之助の姉妹店)
住所 | 東京都港区赤坂2丁目9-2
営業時間 | 【月~金】11:00~22:00 (L.O.21:30) 【土・日・祝】11:00~21:00 (L.O.20:30)



お任せ天丼 栄寿司
1,700円
D2心を持っていくと、なんと200円引き!!!

その日の市場で仕入れた、新鮮な魚介ネタがたっぷり、今にも井からこぼれそうな状態で出てきます。ネタだけでなく、下に敷かれたシャリも店主が3品種をブレンドしたこだわりの味。ネタの好みやご飯の量など、リクエストに応じてカスタマイズして頂けます。一回のランチの値段として見ると決して安くはありませんが、会社から徒歩5分圏内にこのクオリティの一杯が食べられるお店があるのは嬉しい限りです!

D2C 監査室
どこぞの高級店みたいなのに、紹介や予約もいらず、安くても美味しい新鮮なネタを食べたいときに、すぐ食べられる方が好きです。
住所 | 東京都中央区築地4-10-8 営業時間 | 9:30-13:00 ※水曜定休
移転のため現在の店舗での営業は11月19日まで!

あしべ

特集
D2Cの各拠点からスタッフおすすめランチスポットを紹介するのコーナー。今回のテーマは「井ぶり」特集!



エビ天丼
860円

宮崎といえば、宮崎牛や地鶏など畜産のイメージが強いですが、海が近いので魚が美味しいお店も実はたくさんあります。その中で今紹介するお店は、D2C宮崎オフィスから徒歩5分の場所にある「いせえび料理 よしき」です。オススメのメニューが3尾入った「エビ天丼」。お頭まで香ばしく揚げたエビと甘辛タレが絶品です!他にもカボチャやナスが入り、小鉢、味噌汁、サラダバーとコーヒーまで付いて860円という安さも宮崎ならではの嬉しいポイント。宮崎郷土料理の冷汁やマグロ丼などもオススメです。

D2C オペレーションセンター 広報室 赤坂店 (宮崎オフィス) 清水翔平さん
頭から尻尾まで食べるエビ天丼! オフィスからも近いので、宮崎に来た際はぜひ!
住所 | 宮崎県宮崎市橋通西2-1-3
営業時間 | 11時30分~13時30分、17時00分~21時30分 ※月曜定休

社友会

D2CグループのOB・OGが集う「社友会」を存続させ、卒業後も相互の親睦とD2Cとの継続的な連携を目的として組織された会です。去る9月20日(金)、「第6回 D2C社友会」が開催され、歴代のお二人の社長を含む52名が参加しました。今回は初代社長の藤田明久さんにインタビューし、D2Cのメンバーにメッセージをいただきました!



藤田明久さん
D2C 初代社長

Q 現在どのようなお仕事をされているのですか?
A 観光を切り口に瀬戸内7県の活性化に寄与するウェブを創り出す会社の社長です。せとうちDMOを構成する他の会社、観光ファンドの投資先企業、事業支援先企業の取締役や顧問もやっています。ホテル、古民家、水族館、観光船、物産ECSサイトなどを作ったり、動かしています。

Q D2C時代の藤田社長の数々の名言「24時間30センチ、永遠はない、オンラインティ」となれ「せ」とは色褪せず社員の心に刻まれています。やはり、今の会社内で大切にしているキーワードは?
A 「1番戦略」です。世界中の観光地の中から、「Setouchi」を選んで訪れてもらうためには、まず差異化戦略が重要となります。1番には、どんな切り口でも良いので、「No.1 Only 1st」の観光スポットや移動手段を創ろう、と社内外で言い続けています。

Q D2Cグループのメンバーにひと言お願いします!
A 来年6月1日、いよいよ20周年ですね。皆さんも、この記念すべき年に、D2Cの業務を通じて、世の中にどんな価値を提供するのか? その業務を通じて、自分をどう成長させるのか? 20周年に向けて、皆さん「90日」を価値に換え、積み重ねていってほしいです。

#PORTFOLIO vol.3

Nakamaru Yurie

あの人にそんな顔があったとは!?

D2Cグループメンバーの秘められし才能にスポットライトを当て、新たな発見、つながりを生むこのコーナー。

今回はIMGSRCで採用・PR・総務を担当する中丸友里恵さんにフォーカス!

マルチタスクな毎日でも、自分らしさを失わず、楽しむことを忘れない! ハッピーライフバランスを保つ「チョークレタリング」という世界。

—— チョークレタリングとの出会いは?
中丸 小さな頃から大きく描くことが好きで、中高生の頃には教室の黒板や校庭に、大学生の時には、ディズニーシーで清掃キャストとして、帯を使い地面にキャラクターの絵を描いていました。チョークレタリングは、妊娠を機に開始。生活に付加価値をつけたり、家族の思い出を自分らしく残したいなと思って始めたのがきっかけです。

—— チョークレタリングの魅力は?
中丸 レタリングにも色々な種類がありますが、チョークレタリングは消したり書いたり気軽にできること。だからこそ、その時の一瞬を切り取ることができるのが魅力です。

—— 小さいお子さんがいる中、どのように趣味の時間を作っていますか?
中丸 子どもを寝かしつけた後、また朝早く起きて制作を活動しています。また、家の壁一面を黒板にしているため、一緒にお絵描きをしながら、デザインを考えるなど子どもと一緒に巻き込んで実施していきます。また展示会や撮影会など土日の活動は、パパと交代でそれぞれ自分の作れるように子育てをシェアしています。

▲中丸さんのポートフォリオ



自宅の黒板壁

D2 COFFEEのチョークアートも中丸さんの作品

1歳の誕生日フォトブース

IMGSRC 中丸友里恵さん
「ワークもライフも自分らしく楽しむ＆楽しめる環境を作る」をミッションに働く一児の母。酒類卸→デンマーク留学→女性活躍、子育て支援のソーシャルベンチャーを経て、マテリアルUXデザイナーの夫の影響で、イメージソースに転職。採用・PR・総務を担当。パラレルキャリアで、チョークレタラーや花火鑑賞士としても活動中。

一步先の未来を自分たちの手でカタチにする

IMG SRC Vol.05
PROTOTYPES
2019.9.24-27

IMG SRC PROTOTYPES
VOL.05 開催

去る9月24日から4日間にかけ、「IMG SRC PROTOTYPES VOL.05」が開催されました。PROTOTYPESはイメージソースが大切にしているR&Dスピリッツの集大成となる展示会です。今回は「PIXEL FIELD」、「Instant ARbooth」、「KAXEL」の3点の新たなプロトタイプがお披露目されました。D2C心編集部では、PROTOTYPESの主幸でもありイメージソース社の代表である小池さんと、今回の新作「KAXEL」を開発した高野さんにお話を聞きました。

小池 博史 / Koike Hiroshi



—イメージソースのメンバーは日々の案件で多忙中、PROTOTYPESを継続する、できるのはなぜですか？

小池 R&D稼働と案件が被らないように稼働管理を徹底しています。またR&D啓蒙と文化が根付いていると思います。

—今後の目標について聞かせてください。

小池 プロトタイプから新しい体験を生み利益にも繋げていく。テックファーストだけでなくデザインや企画ファーストのプロトタイプにも取り組みたいです。

—「KAXEL」はどのような作品ですか？

高野 「光を遮ることでみせるメディア」をテーマとし、遮光と透過を制御することで“隠す”ことを可能にした空間演出装置です。

—なぜこの作品を企画したのですか？

高野 新しい視覚体験を作りたいと考え、感覚的な視点、技術的な視点、会社としての視点の三つの視点から企画しました。

—どのようなシーンでの活用をイメージされていますか？

高野 ショーウィンドウやエントランスの演出、照明プロダクトなど様々な活用の可能性を秘めていると考えています。

高野 毅 / Takano Motoki



マルチユーザーARを応用した独自の体験「PIXEL FIELD」



その場で自分が3Dになるフォトブース体験「Instant ARbooth」



光を遮ることでみせるメディア「KAXEL」



D 2 C G R O U P T O P I C S



#令和の就活ヘアをもっと自由に

D2Cグループでは、P&Gが主催する『#令和の就活ヘアをもっと自由に』プロジェクトに賛同しています。このプロジェクトは、ひとりひとりの個性を尊重した前向きな就職活動をサポートするためのもので、今回139社が賛同しました。「内定式に、自分らしい髪で来てください。」というメッセージは、日経新聞や都内主要駅への大型ポスターにも展開され、賛同企業としてD2Cのロゴも掲載されました。



ART DMP「INFOGRAPHICS 2018」を公開

D2C Rは、2015年より提供開始しているART DMPの実績として「ART DMP INFOGRAPHICS2018」を公開いたしました。社数・アプリ数ともに導入を拡大し、総データ数は国内だけで1,550億にものぼりました。リテンション広告で戻ってきたUU数は前年比125%。今後もART DMPを用いた分析による“気象とアプリ内課金率の相関性について”など多角的な視点からアプリ内の売上向上に貢献してまいります。



ACC ブロンズを受賞!

イメージソースが開発した光のシャトルが都市を超える新感覚パドミントン『SPACE LIGHT SHUTTLE』がACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 2019 クリエイティブイノベーション部門の最終選考に選出され、公開プレゼンテーションを行いました。審査員による審議の結果、高速通信時代の可能性ある作品という点が評価され、見事「ACC ブロンズ」を受賞しました。



宮崎オフィス、宮崎市と立地協定に調印

D2C宮崎オフィスでは、去る10月4日、宮崎市との立地協定に関する締結式が執り行われました。式には宮崎の戸敷正市長と、D2Cの高橋社長が出席。当日は宮崎2大ローカルテレビ局の取材も入り、こだわりの詰まった宮崎オフィス内のツアー、市長による広告審査体験なども実施。この模様は夕方のニュースなどでも放映され、D2C宮崎オフィスの存在が広く知れ渡るきっかけとなりました。



「YOYOGI CANDLE 2020」がオリパラ1年前を祝う

8月22日から3日間に渡り、東京オリンピック・パラリンピックの開催1年前を祝う、巨大プロジェクションマッピングをカケザンとイメージソースで実施しました。1年前のお祝い演出だけでなく、商業広告や、東京都・渋谷区・警視庁・組織委員会からの情報も投影。街の新しい彩り方/情報の新しい表現手法に挑戦しました。



カバの親子が渋谷の川に水場を求めて逃げてくる!?

D2C dotでは、ナショナル ジオグラフィック「ホスタイル・プラネット 非情の惑星」の番組プロモーションをプロデュースしました。過酷な環境を生き抜くカバの親子が水場を求めてタンザニアから日本・渋谷に逃げてくる、というストーリーのもと、カバの親子(造作物)とナジョジョ(ロゴ)パネルを渋谷川/稲荷橋に設置し、動物たちは生き残りをかけて闘っていることを伝える番組告知グラフィックを撮影しました。



祝! 高井選手、北海道マラソン優勝!

D2C所属の陸上・高井俊治選手が、8月に開催された北海道マラソン視覚障がい者男子の部で、2時間30分54秒をマークし、初優勝しました。この記録は自己ベスト及びアジア記録の更新となる快挙となりました。本人コメント:「今回、自己記録を3分30秒近く縮めることができました。11月10日(日)の東京学芸大学記録会では、トラックの自己記録を更新出来るように頑張ります!」



「tsunagu Japan」新たにインドネシア語を追加

D2C Xが運営する訪日外国人観光客向けWebメディア「tsunagu Japan」の対応言語にインドネシア語が新たに追加されました。現在「tsunagu Japan」は、英語・中国語(繁体字/簡体字)・タイ語・ベトナム語・韓国語・インドネシア語の7か国語で、各国のカルチャーに精通するネイティブスタッフがその国に合ったコンテンツを編集し発信しています。



「インバウンド・デジタル広告市場規模 2018」を推計

Gushcloud Japanがデジタルインファクト社と共同で行った調査によると、18年のインバウンド・デジタル広告市場規模は298億円と推計。2020年には、約170%の506億円に達すると予測。またインバウンド・インフルエンサーマーケティング市場規模は30億円(同デジタル広告市場全体の10.1%)と推計し、2020年には63億円(同12.5%)まで成長する見込みとなりました。